

大阪労働局発表
平成24年5月15日

平成24年5月15日
【照会先】
大阪労働局職業安定課
(直通電話)06(4790)6302

報道関係者 各位

新規学校卒業予定者の就職支援の取組結果について

～「卒業前最後の集中支援 2012」により

未内定の学生・生徒約 1,900 人の就職が決定～

大阪労働局では、新規学校卒業予定者の厳しい就職環境を踏まえ、「卒業前最後の集中支援 2012」に取り組みました。大阪新卒応援ハローワーク(大阪学生職業センター)及び大阪府内のハローワークにおいて就職支援に取り組んだ結果、着実な成果を上げましたので、その取組と実績を発表いたします。

大阪労働局では、新規学校卒業予定者の厳しい就職環境(※1)を踏まえ、大阪新卒応援ハローワーク及び大阪府内のハローワークにおいて、将来の日本を担う新卒者が安定した仕事につけるよう支援をしています。(※2、詳細は別紙1)

また、「卒業前最後の集中支援 2012」に取り組み、大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底等により、1月～3月末で未内定の学生・生徒 1,898 人が就職決定するなど着実な成果をあげました。(※3、詳細は別紙2)

卒業後も就職活動を続ける未就職卒業者に対しても、引き続きジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1日でも早い就職実現に向け、全力を尽くします。

※1 新規学校卒業予定者の就職環境

厚生労働省は5月15日、平成23年度新規学校卒業者の就職状況等を発表しました。

近畿の新規大学卒業者の就職率(平成24年4月1日現在)は93.0%(前年同期差1.6ポイント増)、大阪の新規高校卒業者の就職内定率(平成24年3月末現在)は97.7%(前年同期差1.4ポイント増)となっており、いずれも前年を上回ってはいるものの、就職環境は依然厳しいものとなっています。

【参考】

- ・全国の新規大学卒業者の就職率(平成24年4月1日現在)は93.6%(前年同期差2.6ポイント増)
- ・全国の新規高校卒業者の就職内定率(平成24年3月末現在)は96.7%(前年同期差1.5ポイント増)

※2 ハローワークで新卒者の就職支援を進めています！

- ①大阪新卒応援ハローワーク及びハローワークにジョブサポーターを配置し、学校と連携したきめ細かな支援を行っています。
- ②新卒者と中小・中堅企業のマッチングに取り組んでいます。とりわけ、大阪新卒応援ハローワークでは、新卒者等と正社員募集企業の出会いブース「レギュラーマッチングブース」を設置して、小規模の企業説明会・就職面接会をきめ細かく開催することで、採用実績を上げてきています。

※3 卒業前最後の集中支援 2012

- ①大阪新卒応援ハローワークのジョブサポーターと大学のキャリアセンターとの連携を一層に密にして大学へ出張相談等を行うとともに、未内定の学生・生徒の新卒応援ハローワーク及びハローワークへの求職登録を進め、ジョブサポーターによる個別支援を行いました。
- ②未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会、求人説明会を各所で実施するとともに、大阪労働局においては、2月15日に高校生対象合同求人説明会、2月28日に大学生等対象の就職面接会「フレッシュ就職フェア」を開催しました。
- ③学校と連携し、未内定学生・生徒の保護者に対し、就職の現状についての理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワークや最寄りのハローワークでの就職支援を受けることを勧めていただくための啓発文書を送付し、保護者の理解・協力を促進しました。

ハローワークで新卒者の就職支援を進めています！ (別紙1)

大阪労働局・ハローワークでは、将来の日本を担う新卒者が安定した仕事に就けるよう、新卒者・既卒者の就職支援を進めています。

「ジョブサポーター」によるきめ細かな支援

ハローワーク・新卒応援ハローワークで学校と連携したきめ細かな支援を行っています。

【就職者数】 平成22年度 (平成22年9月～23年3月末) **3,321人**
平成23年度 (平成24年3月末までの速報値) **9,425人**

【主な活動】

- 新卒者・既卒者向けの求人開拓 (平成23年度(平成24年3月末まで)は**6,522人分**を開拓)
- 担当者制の個別支援(定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など)
- 学校担当者制による、出張相談・就職支援セミナーなど学校のニーズに合わせた支援
- 各種ガイダンス・セミナーなどの実施



【新卒応援ハローワークで相談】

○保護者への働きかけも進めています！

労働局等から学生・生徒の保護者に、就職をあきらめないこと、中小・中堅企業にも目を向けること、新卒応援ハローワークやハローワークを積極的に活用することなどを呼びかける啓発文書を送付。平成23年度(平成24年3月末まで)の送付件数は**2,487件**。

「新卒応援ハローワーク」を設置！

就職活動中の学生・既卒者の皆様が利用しやすい専門のハローワークとして「新卒応援ハローワーク」を設置しました（平成22年9月24日～）。

【利用者数(延べ)】平成22年度(平成22年9月～23年3月末) **20,319人** 平成23年度(平成24年3月末までの速報値) **46,817人**
【就職者数】 平成22年度(平成22年9月～23年3月末) **1,598人** 平成23年度(平成24年3月末までの速報値) **4,376人**



【新卒応援ハローワークの風景】

【主な支援メニュー】

- 全国ネットワークによる豊富な求人情報の提供・職業紹介・中小企業とのマッチング
- 就職活動に役立つ各種セミナー
- 大学等への出張相談
- 担当者を決めての個別支援(定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など)
- 臨床心理士による心理的サポート

新卒者と中堅・中小企業とのマッチングに取り組んでいます！

大阪新卒応援ハローワークでは、平成23年12月に梅田へ移転した際、新卒者等と正社員募集企業との出会いのブース（レギュラーマッチングブース）を設置し、中堅・中小企業とのマッチングを促進する就職面接会を開催しました。

平成23年度(12月～3月)は34回実施。

大阪労働局においても各種面接会等を開催しました。

「近畿ブロック大学等就職フェア2011」（7月）

参加企業205社 求人数1,320人 参加学生2,798人

「フレッシュ就職フェア2011」（11月）

参加企業72社 求人数866人 参加学生1,261人



【レギュラーマッチングブース】

大学等への出張相談に取り組んでいます！

大阪新卒応援ハローワークでは、平成23年度中に講演や模擬面接、学生への職業相談など、大学等への出張相談（※）を322回実施しました。

※ 持ち運び便利な携帯PC「ルーキーズ・タブレット」に求人情報を取り込んで、大学等への出張相談を実施しています。

（その場で求職登録・求人情報閲覧・職業紹介ができます。）



「3年以内既卒者の新卒扱い」の普及に取り組んでいます！

雇用対策法に基づく「青少年雇用機会確保指針」（※）を改正（平成22年11月15日）し、事業主が取り組むべき措置として、学校等を卒業後少なくとも3年間は新卒として応募できるようにすることを盛り込み、労働局・ハローワークにおいて事業主への周知を進めています。

※ 雇用対策法第7条において事業主の努力義務として「青少年の雇用機会の確保」が定められており、事業主が具体的に取り組むべき事項を定めたものが「青少年雇用機会確保指針」です。

卒業後3年以内の既卒者を採用する事業主を支援するために、平成22年9月24日にこれらの方を採用する事業主への奨励金制度（※）を創設しました。

【雇用開始者数】平成22年度（平成22年9月～23年3月末） 1,252人 平成23年度（平成24年3月末までの速報値） 3,669人

※ 3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金・長期に育成支援が必要な3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金・新卒扱いで3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金

ハローワークを通じて就職に結びついた好事例

事例1

3月初旬、焦りと孤独感に駆られた理系男子。外資が入る大手IT関連企業に応募。

集団面接で自己PRするよう事前に言われ自由形式に戸惑っていたが、同業界に勤務経験があるジョブサポーターからメーカー技術者が一般的に行う技術成果発表方法を伝授。外国人技術者も混じる面接官の前で堂々とプレゼンし、人事担当者も熱心に助言を行うなどして社長面接にこぎつけた。

本人はそれでもまだ内定が得られるのか不安感と他社への思いに揺れていたが、3月30日、ようやく内定を獲得した。

事例2

地方公務員志望だったが合格せず、大学卒業後はコンビニでアルバイトを続けていたが、これまでほとんど就職活動しておらず、どんな仕事をしたらよいのかわからないが親が心配しているのでと来所された。

当初はサッカーのコーチなどに目が行ったが、相談していくうちに物流倉庫関連など堅実な仕事に絞り込まれていった。そしてさらに職業相談を進めていくうちに、コンビニでの販売経験を生かし、営業職にも適性があるのではないかと本人の「気づき」に至った。

自己PR書ではサッカーやコンビニでのエピソードを通じて営業職に向いていることを強調するよう助言し、結果、応募2社目でのスピード採用に至った。

事例3

新卒でアパレル販売の会社に入社するも、事務希望のところ販売に配属され、販売成績が思うように伸びず本社からやる気がないとみなされ数字しか見てもらえない現状に自信をなくし、入社8ヶ月で退職。精神的ダメージも強かったが、社会の厳しさを学び、社会人として自覚を持てるようになったのも8ヶ月頑張ってきたからこそと励まし、これまで学んだことを本人なりにまとめて次こそ長く勤めたいと思っていることをアピールするようアドバイス。退職から3ヶ月後、みごと転職に成功した。



卒業前最後の集中支援2012の取組状況 (別紙2)

新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、大阪労働局では、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、1月17日から3月末までを集中支援期間とし、「卒業前最後の集中支援2012」を実施しました。

主な取組

未内定の学生・生徒を「ひとりにしない」ジョブサポーターやキャリアカウンセラー等の連携による個別支援の徹底

【実績（1月～3月末・速報値）】

相談件数 のべ20,546件、 就職者数 1,898人

中堅・中小企業中心の就職面接会等の開催

・未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会、求人説明会をハローワーク等で開催

【高等学校卒業予定者合同求人説明会】

開催日：平成24年2月15日

参加企業数：26社 求人数：90人 参加生徒数：230人

【フレッシュ就職フェア2012】

開催日：平成24年2月28日

参加企業数：30社 求人数：106人 参加学生数：520人

・大阪新卒応援ハローワークでは、新卒者等と正社員募集企業との出会いのブース（レギュラーマッチングブース）を設置し、就職面接会を開催して、中堅・中小企業とのマッチングを促進 平成23年12月～平成24年3月 **34回**開催

また、講演や模擬面接、学生への職業相談など、大学等への出張相談を平成24年1月～3月で**196回**実施

・各ハローワークにおいても高校生対象求人説明会を開催